



日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動してるの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



5/28
(土)

ごみ拾いできれいな日野町に 全校生徒で環境整備活動

総体期間中、全校生徒を対象として、環境整備を実施しました。身近な環境を整備することで、地域などに対して奉仕する気持ちを持つことを目的としています。この日は天気もよく、とても暑い日でした。

校内は、体育館周辺、部室周辺の草取り。環境委員によるごみ箱の洗浄。校外は、双葉寮の草取り、通学路のごみ拾い、日野町内のごみ拾い、JR根雨駅の掃除、日野高校黒坂施設の掃除を行いました。

これからも各施設や通学路、町内をきれいに大切にしていきます。



6/3
(金)

地域の皆さんとお話を わすれんぼカフェ

3年生「コミュニケーション技術」の授業で、「わすれんぼカフェ」（わすれんぼくらぶ主催）に参加しました。

わすれんぼカフェは、認知症にならないためではなく、認知症になっても大丈夫、という地域にするため、誰でも気軽に立ち寄れ、ゆったりと過ごすことのできるカフェです。生徒たちは、地域の皆さんとお話をしたり、お茶をたてたり、飲み物の配膳、ハンドケアも行いました。

生徒からは、「地域の皆さんに喜んでもらえて、とてもうれしかった」「また来てね、と言われてうれしかった」「次回もがんばります！」など、さまざまな感想がありました。今回の反省を生かし、次回の準備を進めていきたいと思います。



2022 年度事業計画などを決定

日野町人権・同和教育推進協議会 総会

5月24日、山村開発センターで自治会長の皆さんや各種組織、関係団体の代表者などが出席し、町人権・同和教育推進協議会の2022年度総会を開きました。

はじめに、埴田淳一会長から、「ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから3カ月。戦争は人権侵害として最大の出来事です。ユネスコ憲章前文に書いてありますが、早く停戦をして、平和の礎を築いてほしいと思います」とあいさつがありました。

次に、2021年度の事業実績、決算の状況を報告し、原案どおり承認されました。その後、2022年度の事業計画、予算案について説明を行い、原案どおり承認されました。

総会終了後は、第1回町民人権講座が開催され、「コロナウイルス感染症関係・私たち一人ひとりができること～当事者意識をもって考えるコロナ差別～」と題して、DVD視聴を行いました。

日野町人権・同和教育推進協議会広報紙

人権のまち **ひの** 2022年7月



日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

後を絶たない熱中症
「自分は大丈夫」は危険？

これまで3回、夏の町報に熱中症について書いてきました。今年は空梅雨で、6月末から35度以上の猛暑日や40度の記録的な暑さが全国で報じられています。

もう日野町の皆さんは熱中症対策を理解できていると思っていました。今年もやはり、熱中症で入院してくる患者さんが後を絶たません。患者さんに聞くと、これぐらいは今までしていたから大丈夫と思った、もう少しだけだからいいだろうと思つた、などといわれます。

これらは、何の根拠もな

いのに自分だけは大丈夫と思つてしまふ人間の習性です。行動経済学では正常性バイアスと呼ばれます。

また、正常性バイアスは人数が多いほどかかりやすいつつ特徴があります。多人数でゲートボールをしていて、熱中症の初期症状が出てくるのに他の人たちが一見普通にしていて、自分も大丈夫と考えて異常に気付くのが遅れ、何人もの人が熱中症になつてしま

います。人の行動は、必ずしも合理的ではないのです。後でゆっくり考えると間違つていられると思われれることも、そのときにはその行動が正しいと判断してしまいます。ほとんどの患者さんは、熱中症になつた後で危険なこととは分かつていたのにやめられなかったと話しています。ではどうすれば良いのでしょうか。

逆にこの行動経済学の理論を利用する方法があります。先ほどの例では、ゲートボールを1時間すれば、みんな10分間休憩して水分を取ることをルールとして決めれば良いのです。こ

れは周囲の人を気にする「社会的選好」を利用したものです。

熱中症予防の基本を守り 楽しい夏を過ごしましょう

それでは、もう一度熱中症予防の基本を復習しましょう。

- ① 日中の暑い時間帯、日差しが強い時間は外に出ない。どうしても出るときは日傘、帽子を着用しましょう。
- ② 屋外では時間を決めて休憩と水分補給を行う。1時間ごとの休憩と1日1.2リットル以上の水分を取りましょう。
- ③ 屋内でも冷房をつけて、水分補給を行う。風通しを良くし、室温を確認しまし

う。

- ④ 夜間でも熱帯夜では冷房、扇風機をつけ、水分を取る。入浴前後、起床時は必ず水分を補給しましょう。
- ⑤ それでも頭痛、吐き気、めまい、倦怠感が出てきたら、すぐに病院に受診してください。受診までの間に、涼しい場所に移動し、衣服を緩めて、首、脇、足の付け根を冷やしましょう。

熱中症の予防法は知っていることばかりです。正常性バイアスに陥らないように、休憩や水分摂取を習慣づけることが大切です。

これから夏本番、楽しい夏を悲しい夏にしないように、家族みんなで予防を心がけましょう。

